



緒方流水君序 石橋玄潮君著

### 新體詩指南

正價廿五錢  
郵税四錢

新體詩の性質を明にし、其作法を詳説し、附するに之が模範たる作例と、之を組織すべき資料たる類語を蒐集したるもの、新體詩自修の指南取は本書を指して何れにか之を求めん

石橋玄潮君編

### 花天月地

正價廿五錢  
郵税四錢

本書收むる所は當時有名の新體詩人の作にして其草を抜き其精華を採りて之を編む、其數七十有餘題當に是れ四時花鳥風月の友天地の有情を教ふるものは即ち之なり

文學士栗田木岡君序 渡邊幾石君編

### 美辭麗句

再版  
正價廿錢  
郵税四錢

本書は部門を季候(春、夏、秋、冬)地理、天文、人品、品性、人情及人事に分ち更に百有餘の細目に分ち以て索引の便を計りてし、作文の好資料にして術しくも文筆を弄するの士が座右の友として裨益少なからざるを信す

早田玄洞君著

### 膽力修行

正價廿五錢  
郵税四錢

男兒等を成す膽大なるを要す然らざれば孔明の智略あるも遂に失敗に終る可し然らば膽力の養成は如何本書詳にこれを説く

國府扉東君序 香川怪庵君述

### 文士政客風聞錄

正價拾五錢  
郵税貳錢

方今其名噴々たる政治家、文豪が奇蹟珍聞を流めたるもの、滑稽あり、酒落あり、豪放あり、奇矯あり、風流あり、傲然あり、而は隠知として紙上に活潑す、





一冊前金二十五錢 郵税四錢

第一編 奇人の旅行 (既刊)

押川春浪君著

世界怪奇譚

岡落葉君密畫

第二編 世界武者修行 (來一月 出版)

第三編 怪人奇譚 (來二月 出版)

第四編 空中の冒險 (來三月 出版)

東京神田 銀治町 大學館發行

### 第一編 壹編 來出

押川春浪君著 寫真版數葉入

世界漫遊 奇人の旅行

正價二十五錢 郵税四錢

二十世紀の 世界が舞臺

で御坐る。奇人 百二十萬

錢あり其旅費 弗米國 鑛山王

上須露西亞を回し 花の英國交

際場裡に、傍若 奇劇を

者諸君 一讀二嘆 卷を掩ふ

も亦た 一讀二嘆 こと能は

駿臺隱士著

最近記憶術

學生坐右叢書

價定二十五錢  
郵税四錢

記憶力と理解力

とは修學の  
二天原素なり、而かも記憶力は年齢の増  
加と**反比例**の傾向とを有す、

畢竟これ記憶術の**修練缺乏**の結

果なりとす、然れば則ち本書を縮きて、熟  
讀玩味せんには失念忘却等の事より起る  
計らる可からざる**損害を免**ること

を得べし、行文平易にして極めて理論を  
避け**實用に適**せんことを務めたり。

駿臺隱士著

學生讀書法

學生坐右叢書

價定二十五錢  
郵税四錢

讀書の法其の宜ろしきを得ず  
んば**千卷萬書畢竟**する

に何の用ぞ従て本來此に關す  
るの著書頗る多きが如し然れ

ども**親切叮嚀理論と實**

際を兼併して**學生の好伴**

侶たるを期したるもの豈に本  
書の如きものあらんや。

早田立洞君著

臨終の一日

正價 廿五錢  
郵税 四錢

本書は臨終の際に於ける英雄豪傑聖人君子美人烈婦

高僧等が言行を描きたるもの、平常の覺悟は臨終の際の言行によつて

解決せらるもの也、本書を讀むもの必ず

豁然大悟する所あるべし一部の小傳と見做すは本書を知るものには非ず

蓋し精神修養上必須の好著なり。

原田東風君著

貧民窟

正價 廿五錢  
郵税 四錢

労働問題、社會問題、風俗宗教

等に研究しつゝあるの人士は先づ第一に貧民窟が現状も精通せざる可から

ず而して從來空論の喧々たるに比してこれが状態生活を寫したるの書甚

少し、これを概して著はされしは本書也行文極めて趣味あるを以て感

興の中に巨細知悉すを得

(奥附三十一)

岩崎徂堂君著岡洛葉蜜書

田中正造奇行談

正價廿五錢郵稅四錢

明治の佐倉宗五郎

明治の三奇

人にして翁が行動は實に

會に在つては毅然として人の意表に出

與謝野鐵幹君著

新派和歌の彙

正價廿五錢郵稅四錢

鐵幹君が初學者の爲め

叮嚀を旨として註釋、評論

説話せられたるすべて新派

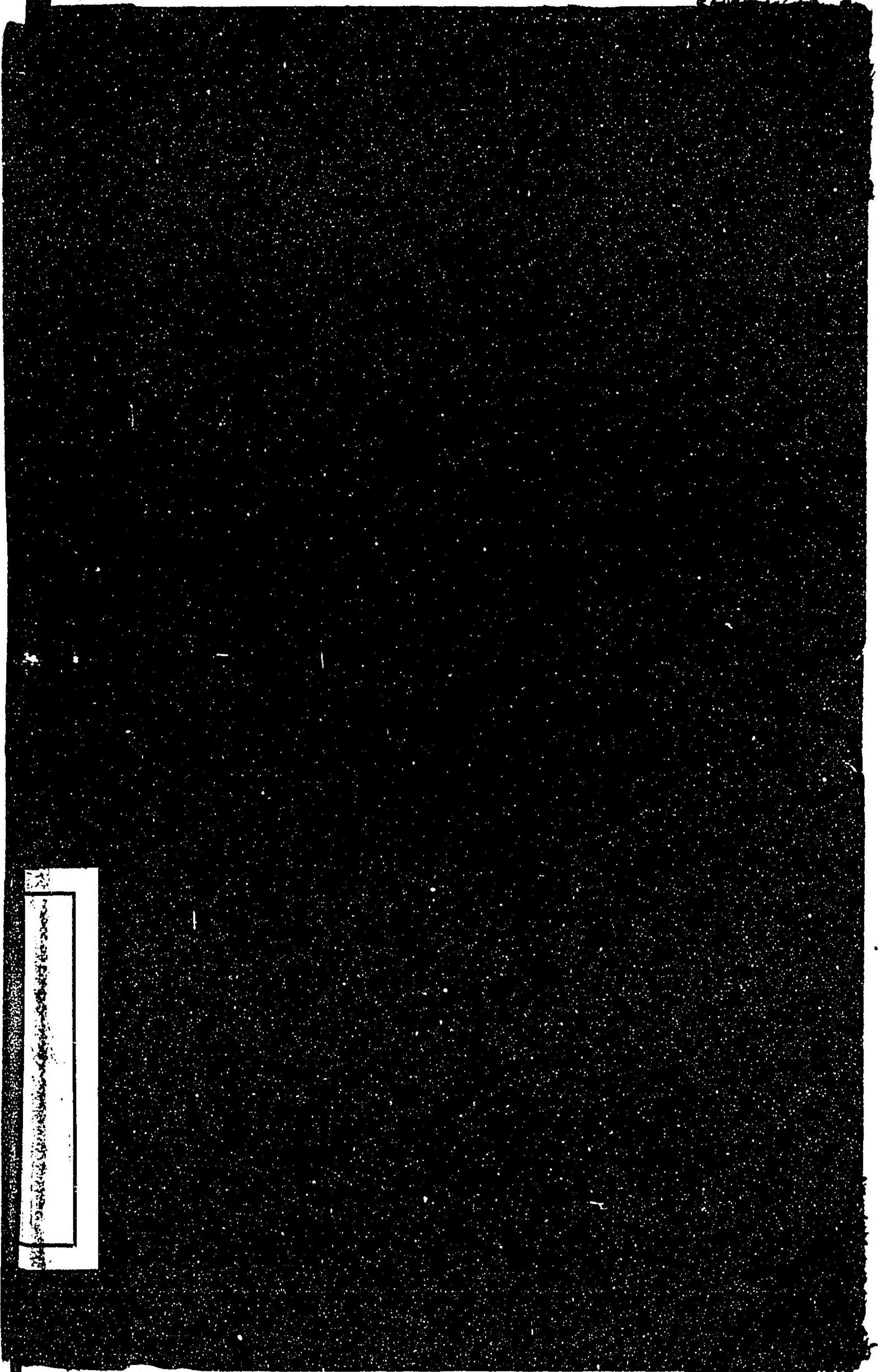
和歌に關する著作を蒐録し

たるもの實に歌壇の珍

稱す可し

82  
430





11